



# 新たな学校づくりの「第2回検討委員会」を行いました！

12月18日(月)に第2回小牧市新たな学校づくり推進計画検討委員会を開催しました。

新たな学校づくりに関するアンケートの修正案等を報告した後、**小牧市が目指す教育の実現に向けて意見交換**を行いました。



## 小規模校の課題

- 【人間関係】 多様な他者との触れ合い困難、クラス替え困難、人間関係の固定化
- 【教育】 多様な考え出にくい、切磋琢磨する機会減少、部活等の活動の場減少
- 【学校運営】 教員の減少で負担増加、病欠・出張時の協力困難、教員同士の学び合い困難
- 【その他】 PTA活動等の保護者の負担増加

きめ細かな指導などの利点もある一方で、課題も多い

## よいよい教育環境づくり

### 多様性の中で学び合う

- **誰一人取り残さないことが大切**
  - ・不登校、いじめ、外国にルーツ、貧困、ヤングケアラー、特別支援など
- **人間関係づくりが大切**
  - ・他者理解、他者承認のなかで一人一人の居場所ができる
  - ・色々な考え方・価値観に触れる
- **地域連携・他機関連携が必要**
  - ・安心できる地域社会のなかで子どもは豊かに育つ
- **多様性の容認**
  - ・自分らしくいられる、他と違っていてもいいと容認してもらえるような学校
- **グローバル社会で生きる力づくり**
  - ・多様な価値観に触れさせる

### 9年間の小中一貫教育

#### 【教育・人間関係】

- 縦のつながりを強く意識できる
- 中学校の進学に不安を持つ児童が減る
- 中一ギャップなどの問題を減らす利点
- 小学生と中学生の学びの交流に期待
- 9年間の中で子どもの成長を見守れる
- スタートとゴールを見ることが可能
- 特別なニーズのある子どもに対して、中学校への引継ぎが円滑化
- 部活動の活発化に期待

#### 【学校運営】

- 柔軟な教職員の人員配置、施設等の共有化、情報システムの一元化に期待
- 教員の小中学校間交流による専門性向上
- 学級担任制から教科担任制への緩やかな移行が可能

